

科・ぼ・せ・ん News Letter

2022.12.3 発行

<https://ridai-svc.org/>



「若者に期待する」

科学ボランティアセンター
コーディネーター 三木 淳男



磁石につく火山岩と三木（上高地にて）

仮説実験授業によって**科学の楽しさに目覚めて何十年**。今でも科学への興味と好奇心は変わりません。それは科学ボランティアセンターの学生さんも同じ。道方さんという学生さん（科ボラの大先輩）が、インタビューで次のように答えていました。（岡山のWEBマガジン「ボランピオ」No.4/2014年3月23日）

「活動を続けている理由はただ楽しいから。科学イベントで僕が何かしていると、子どもたちが興味深々で集まってきて驚いたり、一緒に考えたり、自分の手でつくったり…。**入学前は地域にでかけていくなんで想像もしなかったけど、ボランティアをする時間が、とても楽しくなりました。**」

…こんな若者がもっともって増えてほしい。私もサポートを続けます。

科ボラ OBOG 会 公式 LINE 始まる

岡山理科大学科学ボランティアセンターがスタートして14年になります。その間にたくさんの素晴らしいスタッフ会のメンバーに恵まれ、毎年、多くの挑戦、失敗、そして成功、感動が生まれ続けてきました。

他の人の笑顔を通して自分の可能性や価値を知り自信につながるこの活動は、卒業後も確かにそれぞれの人生に大きなプラスの影響をもたらしている…その事実はこの「NewsLetter」や前身の「科ボセンだより」でもその一端をうかがうことができます。

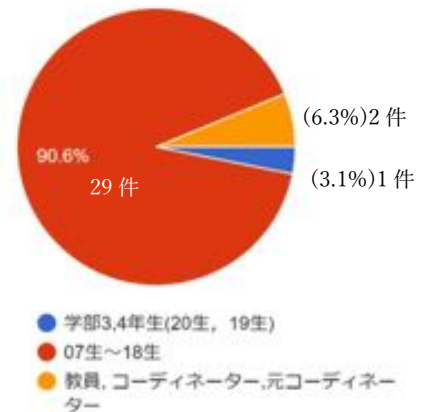
この約3年にもわたるコロナ禍は科ボラの活動やそれに関わるスタッフ会の意識にも影響を与えざるを得なかったわけですが、ようやくかつての活動に戻つつある今、科ボラの貴重な財産としての OBOG のみなさんに繋がりをもち続けていただき、何かをまた一緒にやっていくキッカケにしたいと願っています。

現在、「科ボセン Returns」という公式 LINE が立ち上がっています。

運営スタッフとして、ヒメ、あぼやん、おじょう、ゆか、さらにコーディネータの糸山、岡崎が公式 LINE のページを作ったり、これから何ができるか話し合ったりしています。（運営スタッフ募集中！）

2022年11月現在の登録者数は50人です。同じく今年立ち上がった「たのセンおかやま」（たのしい先生を目指しましょう！）にも、教員以外の OBOG もふらりと参加して盛り上げに一役買ってくれたりもしています。

10月にアンケートをとったところ、



となっており、現3、4年生の早めの登録をお願いしています。

また、「OBOG 会でやりたいこと」では、
◎卒業生同士の交流
◎現役生徒の交流
◎先生方との交流
がいずれも非常に多く、「差し入れ提供」というありがたい申し出もありました！笑

さて、来年は科ボラ15周年の年です。**せっかく始まった OBOG 会、たのセン、何か楽しいことを自分たちで企画してやってみませんか？**2023年8月11日（山の日）をぜひ空けておいてください！（コーディネーター：岡崎則武／リセン）

科学ボランティア実践1 @科学博物館 結果発表！

優勝

3班 光るキーホルダーを作ろう！(4.59点)



11/26(土) 大学祭内で、300人以上の一般来場者を迎え、たくさんの笑顔をもらい、大きな達成感を得ることができました。すべての班が平均得点4点(5点満点)以上というとてもレベルの高いショー・工作でした！以下、評価コメントより…

〔3班〕とても面白かったです！メンバーの人たちの接し方が上手で子どもも安心すると思う。光るといって身近かつ子どもの興味を引く内容でとても良かったです。

〔4班〕話し方に抑揚をつけたり、マジックのような形式で実験を見せたりと、場を引きつける工夫が色々としてされており、聞いてとても楽しかったです。また、コイルトレインのモデルが見えやすく作られていて理解しやすかったです。

※5班は、11/20(日)にサイピア「理大の日」に出展させていただきました。さらに改良して、2月に小学校でも行う予定です。

準優勝

4班 磁石と電気の世界(4.46点)



特別賞

5班 鏡のふしぎ(サイピア発表)



1班 ぶんぶんごま



- ・一目見てわかる大きなブンブンゴマはとてもわかりやすく、惹きつけられる内容だった。ブンブンゴマを実際に作って体験できるところも良く、説明もわかりやすかった。明るい雰囲気でも楽しかった。
- ・原稿を見ることもなく、班員自身が実験(工作)を楽しんでいるように見えた。作ったブンブンゴマを持ち帰れるのも良い！子供たちは必ず喜ぶ！

2班 重心の不思議



- ・セリフがスムーズに言えていた。フリップとの連携も良かった。しっかり役割分担出来た。話だけだと分からないから分かりやすく図で書くなりした方が分かりやすかったかも？けどジェスチャーが多かったから良き！
- ・誰一人として、原稿を見ることなく発表できてきて、練習を何度も重ねてきたことが一目で分かりました。

6班 傾きの科学



- ・ブースを3つに分け、それぞれが興味のあることをできるという工夫が面白かったです。また、原理説明の用紙をラミネートして用意されており、とても見やすかったです。
- ・実験を最初に見せた後、参加者に予想させることによって、より実験に引きつけられて楽しんで見ることが出来ました。

∴ 学生スタッフ会 OB/OG 紹介 ∴



わでいー

丸五ゴム工業株式会社
岡山理科大学 理学部 化学科
理学研究科 化学専攻
(2020 年度卒業)
カボラ在籍：2017-2018

** 近況・仕事内容 **

入社2年目、早くも1年半が経ちました。入社時からは倉敷市に住んでおり、気ままな一人暮らしを楽しんでいます。勤務先も歩いて5分とストレスフリーなご近所ですが、通勤はバイクです。会社はゴム製品を取り扱っており、研究開発枠で仕事をしています。仕事では一つ目の転換点を迎えており、材料設計から製品設計に業務が変わりつつあります。知らないことばかりの入社当時は思い出しながらも、日々の成長を楽しんでいます。

** カボラの思い出 **

二言なら“行けば誰か居る。居れば誰か来る。”

語るならカボラとの出会い。二回生のGW明け、3限終わりで帰ろうとフラフラしている時に藤田（後の15生会長）がカボラから現れた。以前、講義で話ただけだったが話が盛り上がり、階段降りてカボラに突入。先輩方とも話をしているうちにバイト先を紹介してもらうこととなった（後に大学院を修了するまで5年近く勤める）。

在籍中は同期との一年のGAPに焦りを覚えたり、イベント終わりの達成感を共有したり、みんなでバカやったり、怒られて落ち込んだりもしました。これらの思い出の起点はカボラとの出会いにあると思っており、**できることならもっと早くカボラと出会いたかった**です。うろ覚えですが、入学式遅刻したから祝砲もカボラもこの時まで知らなかったはずです。

** 役に立っていること **

このタイトルが個人的に一番難しいと感じました（タイトルは何でもOKといわれていますが）。**役に立っていることが有り過ぎてどれを選ぶか悩みました**。中でも私（大和田）らしさを感じられる楽しむことについて過去の話と併せて紹介します。

Showやブースで出し物をするときは楽しくテンションを上げて行うのが私のスタイルでした。自身の成長を感じることや、承認欲求が満たされることが好きでカボラの活動を続けていました。しかしながら、準備に時間を掛けても上手くできないことや、テスト期間中のボランティアなど辛いと思う時もありました。

辛いと感じているのに楽しく高いテンションで振舞う自分に矛盾を覚えた結果、**シンプルな頭でせっかくやるなら楽しもうという結論を出しました**。この考えはプライベートと仕事の両方で役に立っており、怒られている時以外は便利です。面倒事、問題事、悩み事などに取り組む際は試してみたいかがでしょうか？課題解決も自分が成長するための経験になります。

** 後輩へのメッセージ **

勉強の場所は大学の講義だけではなく、**身の周りにも成長のチャンスはあります**。専門分野以外の勉強や情報を集めて考えることも人間力の向上につながると思います。カボラは上記の環境に適した場所であると共に、学生生活の思い出をつくれる場所です。あなた方の後輩にとってもより良い場所であり、より良い活動となるように先生方と協力して日々の成長を積み重ねていって欲しいと思います。

[写真は学生時代👉]



∴ 学生スタッフ会メンバー紹介 ∴



〔新会長〕 けんてい

理学部生物化学科 2年生
(静岡県出身)



皆さんこんにちは！科学ボランティアセンター学生スタッフ会第14代会長になりました、鈴木健太です。

＊ ＊科ボラに入ったキッカケ＊ ＊

大学に入り、理科が好きだった僕は科学ボランティア入門という授業を受けました。授業を受けてみてとても面白いと思いました。科学ボランティア入門の授業の中で、科学ボランティアをする学生組織「科学ボランティアセンタースタッフ会」があることを知りました。科学ボランティア入門の授業が面白かったので、スタッフ会に入ってみようと思いました。

入ってみると、活動は楽しいし、何よりボランティアに参加することがとても楽しかったので。また、静岡から岡山に引っ越してきた僕は友達がいなかったのですが、友達も増えたので学校生活が楽しくなりました。

科学ボランティアに参加していくうちに自分の中で目標ができました。それは「自分も楽しむ」です。まず、お客さんに楽しんでもらうことが一番大切なことです。そのために、前にいる僕らお兄さんお姉さんが楽しまなければ見ているお客さんも楽しんでもらえないと思います。だから僕は、「会場にいる誰よりも楽しもう！」そんなことを思いながらボランティアに参加しています。

＊ ＊会長になって＊ ＊

二年生になり会長になりました。会長になった今、僕は「誰もが輝ける場所を作る。科学ボランティアセンタースタッフ会の活動が大学生活で一番楽しかったとみんなが言えるような団体になる」を目標に頑張っていきたいと思っています。

僕のところにはボランティア依頼がたくさん入ってきます。そのボランティアを2年生だけでなく1年生も責任者をやる機会を増やすようにしていきたいです。ボランティアの全体責任者だけではなく、自分のやりたいことをブース責任者としてできるようにしてあげたいです。

そして、科学ボランティアセンタースタッフ会には入っているけれど参加したことのない人もいますので、そんな人もボランティア活動に誘っていきたく思います。

【11月の「科学の祭典」の中でショー👉】



これから開催されるイベント

- 12/4 (日) AM
岡山理科大学で学ぶ自然教室
(岡山理科大学内)
- 12/4 (日) AM
岡山天文博物館「こども天文クラブ」
(浅口市中央公民館)
- 12/9 (金) PM
ノートルダム清心女子大学附属小学校 科学クラブ6回め(理科室)
- 12/11 (日)
京山祭「科学キッズフェスティバル」
(岡山県生涯学習センター)
- 12/11 (日)
岡山ウインターフェスティバル
(岡山県総合グランド・サブアリーナ)
- 12/18(日)
操山町子ども会クリスマス会
(宇野小学校体育館)
- 12/18 (日)
わくわく仮説実験教室・理大の日
(サイピア)
- 1/9 (月)
サイピア理大の日スペシャル・サイエンスショー「環境のカガク」
- 1/20 (金) PM
ノートルダム清心女子大学附属小学校 科学クラブ7回め(理科室)
- 1/22 (日)
わくわく仮説実験教室・理大の日
(サイピア)
- 1/22 (日)
サイエンス&アートシアター「ピリリンがやってきた!」(玉島図書館)
- 1/29 (日)
かがく広場(岡山天文博物館)